

堺区

質問	候補者名	必要◎ 不必要× その他△	ふちがみ猛志さん(無所属)		
1 「子ども条例」制定について		◎	「子どもの権利条約」の理念を、職員・市民に周知する上でも重要な事だと考えます。		
2 虐待から子どもの命と心身を守るための対策について		◎	昨年の第一回定例会で、子供相談所の体制強化を訴えました。今年度、堺市の子供相談所は過去最大規模の増員[約1割増]となりましたが、そのきっかけにもなる質疑だったと考えています。非常勤職員、若手職員の率が高い事も指摘しており、今後引き続き相談所の体制強化を求めています。		
3 子どもの相談・声を受け止め、政策に反映させる体制作りについて		◎	「子どもの情報教育センター」で相談や関係機関との調整機能を担っているものの、大阪府の取り組みという事もあって堺市では関係者・市民の非常に低く、調査・勧告機能が不十分です。体制作りと共にそれらの周知や、又スクールロイヤー等の体制作りも重要と考えます。(既に堺市には配置されているものの、教育現場での認知度も高くない。)		
4 子どもの遊びの保障について		◎	プレーパークの導入はこれまでに度々議会で取り上げて参りました。前向きな答弁も見られるようになり、近いうちに実現できるものと確信しています。引き続き実現の為に取り組みます。		
5 地域や学校で多様な子どもたちが育つことについて	コミュニティーの一員として共に学ぶ／共に育つほうが	◎	「共に学ぶ・共に育つ」という大前提のもと、個々の課題に応じてきめ細かなサポートができる体制が必要と考えます。(通級指導、チームティーチングなどの他、母語保証等でアイデンティティを大事にすること)		
6 子ども主体の学びのあり方について		◎	堺市でも学力重視のきらいがあり、懸念しているところです。		
7 学校・教職員へのサポート体制について		◎	まずは教員の大幅な増員が必要です。その上で鍋蓋型の組織からピラミッド型の組織への移行を目指します。例えば新卒1年目の教員がいきなり担任を持つのではなく「先輩をサポート⇒先輩にサポートしてもらう⇒独り立ち」という風に、段階を経て担任を持つようにしたり、指導力が高い教員が担任を持たずに複数人の若手をサポートするような体制を目指します。		
8 フリースクールなど多様な教育の選択肢について		◎	フリースクール支援と共に「学校への復帰」を目指さない、不登校児の為に新たな中学校を作る事も目指したいと思います[例:京都市の洛風中学校]。いずれにしても子供達に多様な学びの場や居場所を確保します。*なお放課後デイは「学校を休んだ子供でも」利用可能です。(不登校の子が利用できないのはご指摘通りですが、前者については堺市からの通達説明が不十分で、各事業者にその様に伝わっていた事が明らかになり昨年私がその事を指摘し、誤解を解く為の再通達が担当課から各事業者になされました。		
9 放課後の子どもの居場所		◎	居場所作りの1つとして、プレーパークの設置(将来的には地域・校区ごとに)を目指しています。		
10 「子どもの権利条約」の周知について		◎	「日常的に子どもに関わる事の少ない大人」も含めて、社会に広く周知することが必要と考えます。		

		必要◎ 不必要× その他△	北区						
質問	候補者名	石本京子さん(日本共産党)	池田克史さん(大阪維新の会)	山根健さん(自由民主党)	長谷川俊英さん(無所属)				
1	「子ども条例」制定について	◎	◎	内容をよく理解してはいるが、基本的な考えを示しました。	◎	大阪府の取り組みも参考にし、必要の可否を考えるのがいいかと思います。	◎		
2	虐待から子どもの命と心身を守るための対策について	◎	◎	内容をよく理解してはいるが、基本的な考えを示しました。	◎		◎		
3	子どもの相談・声を受け止め、政策に反映させる体制作りについて	◎	◎	内容をよく理解してはいるが、基本的な考えを示しました。	◎	子どもは必要な法律行為などを行えないため、保護者以外にも中立的な児童福祉・教育・法曹関係者の関与が必要だと思います。	◎		
4	子どもの遊びの保障について	◎	◎	内容をよく理解してはいるが、基本的な考えを示しました。	△	純然たる子ども自律集団ができるのか不安があり、中立性の高い大人の協力が必須です。また、特に子どもが増えている地域で、市有施設の空きがあるか心配です。	◎		
5	地域や学校で多様な子どもたちが育つことについて	◎	◎	「インクルーシブ(包括的:障害のある人もない人もともに)教育」を真に実現するためには、教職員の配置の充実など十分な環境をととのえる必要があります。あらゆる段階で、障害のある子どもの教育の権利を保障し、必要に応じたサポートをおこなうことを求めていきます。	◎	ニーズがちがうので別々に学ぶ/育つほうがいい	◎	それも多様性であり、自らと違う個人、集団との協調も学ぶべき大事なことだと思います。	
6	子ども主体の学びのあり方について	◎	◎	「総合的な学力」「堺マイスタディ事業」などこれまでさまざまな取り組みがなされてきました。市民のみなさんの運動も大きな力になっています。	◎	内容をよく理解してはいるが、基本的な考えを示しました。	△	両者が必要であり、読み書き計算は自ら学ぶための基礎素養として必要。	◎
7	学校・教職員へのサポート体制について	◎	◎	少人数学級の中学校への実施拡大！教職員増をさらにすすめて、そのために政令指定都市(権限財源が都道府県なみ)堺を守らなければならないと思います。	◎	学校のクラブを廃止し地域スポーツクラブへと移行する。またIT化の推進。	◎		◎
8	フリースクールなど多様な教育の選択肢について	◎	◎	しかし、内容については、しっかり指導監督が必要です。	◎		△	私はフリースクールの実態に詳らかでないので、責任をもって回答できません。	◎
9	放課後の子どもの居場所	◎	△		△	調査研究が足らず決定できません	△	4の回答と近いですが、市有施設の空きがあるかが心配です。また行政の普く公平という考えと一致しにくいと思われます。	◎
10	「子どもの権利条約」の周知について	◎	◎	本当に大切な事です。私もがんばります。	◎		△	子どもの権利条約自体は、内容の詳細は別として、比較的有名であると思います。	◎
備考								恐れ入りますが、貴団体を存じ上げておりません。今後のお付き合いをよろしくお願いします。	全項目必要ですと記載あり

		必要◎ 不必要× その他△	東区			
質問	候補者名	黒田征樹さん(大阪維新の会)	野村友昭さん(自由民主党)	廣田新一さん(公明党)		
1	「子ども条例」制定について	◎	△	◎	制定をするのであれば、同じような取り組みをしている自治体を参考にしながら、目的内容を精査し実効性のあるものにした	
2	虐待から子どもの命と心身を守るための対策について	◎	◎	◎	専門職の人員を増やすのは大切なことではあるが、それと同時に横断的なシステムを構築することが必要だと考える。	
3	子どもの相談・声を受け止め、政策に反映させる体制作りについて	◎	△	△	堺市には、市政の提案箱、区の行政相談、行政相談員、公益通報者保護制度があるので、これらを精査した上で先進事例を研究して検討していく。	
4	子どもの遊びの保障について	△	◎	◎ △	子どもたちの遊ぶ場所を確保するのは当然必要と考えますが、スペースや人材の確保が課題となると考えています。	
5	地域や学校で多様な子どもたちが育つことについて	コミュニティーの一員として共に学ぶ／共に育つほうがいい	◎	◎	各クラブ活動や子ども会なども少子化となっており、公の関わり方(地域コミュニティー)が今後大切。	
6	子ども主体の学びのあり方について	◎	◎	◎	子ども達の自らが考える力をつけることと、教師の質の向上の両方が大切と考えます。	
7	学校・教職員へのサポート体制について	◎ △	◎	◎	教職員の働き方改革を推進していく必要があります。夏休みの必修、部活動指導員の雇用、タブレットの配備なども大切と考えます。	
8	フリースクールなど多様な教育の選択肢について	◎	△	◎ △	堺市では、不登校の児童・生徒のために相談窓口、ユースサポートを設置、適応指導教室、スプリングサポートを設置している。今後もこの体制を強化していきたい。	
9	放課後の子どもの居場所	◎	◎	◎	部活については、指導者の配置の拡大を図るよう要望しています。公園の整備、図書館、文化会館でも受け入れていける仕組みが大切と考えます。	
10	「子どもの権利条約」の周知について	◎	×	◎	前文にある通り、「身体的及び精神的に未熟であるため」法的保護が大切と考える。特に児童・生徒の虐待を防止するために、児童福祉法等改正案として、先んじて体罰禁止を法制化が見込まれている。事前の防止策、事後の家事相や警察の連携が大切。LGBTへの認識もまだ浅いところなので、教育現場はもろろんのこと地域での学ぶ場所を多くしていくことが大切。	

備考

		必要◎ 不必要× その他△	西区		
質問		候補者名		西てつしさん(立憲民主党)	田代ゆう子さん(公明党)
1	「子ども条例」制定について	◎		△	子ども達が生きづらい社会になっている事はひしひしと感じます。先例市の事例を学び、研究したい。
2	虐待から子どもの命と心身を守るための対策について	◎		◎	専門職を増やす事は必要と考えます。継続して支援できる取り組みが必要と考えます。
3	子どもの相談・声を受け止め、政策に反映させる体制作りについて	◎			本市にある行政相談員や公益通報者保護制度などありますが、それらを精査し、先進事例を学び、研究したい。
4	子どもの遊びの保障について	◎		◎	
5	地域や学校で多様な子どもたちが育つことについて		コミュニティの一員として共に学ぶ/共に育つほうがいい		コミュニティの一員として共に学ぶ/共に育つほうがいい
6	子ども主体の学びのあり方について	◎		◎	自分で考え、学ぶことは非常に大切です。また教師の質も共に大切だと思います。
7	学校・教職員へのサポート体制について	◎	教員の皆さんが教えるという事に専念できるようにする為に、システムの導入(RPA等)も積極的に行うと共に、事務担当職員の増員も必要と考えます。	◎	教員の働き方改革は更に必要。タブレットを利用した授業の視察で、子どもの学習と共に教員の負担軽減につながっていることを目の当たりにしました。更なる活用が有効と感じました。
8	フリースクールなど多様な教育の選択肢について	◎		◎	ユースサポートステーションなどの体制強化と共に、フリースクールなど支援し、幅広い選択が出来るのが理想と考えます。
9	放課後の子どもの居場所	◎	無料で校庭を活用できる方法がないか、本会議などで何度か議論しています。	△	指導員を配置した部活動や公園、図書館、文化会館などを利用する仕組みが必要ではないかと考えます。
10	「子どもの権利条約」の周知について	◎		◎	国では体罰禁止の法制化が見込まれているが、その以前の防止策や以後の警察などとの連携も大切であると考えます。LGBTへの認識などこれからです。学校だけでなく社会の中で学ぶ機会が必要です。
備考					

		必要◎ 不必要× その他△	中区
	質問 / 候補者名	みつぎひろあき(自民党)	
1	「子ども条例」制定について	◎	
2	虐待から子どもの命と心身を守るための対策について	◎	住所が変わった際の引き継ぎを書類だけで済ませるのではなく、担当職員の直接対面による方式にするなどが重要。そのためには不足している職員数を拡充しなければなりません。大阪府では絶対的に不足しています。いわゆる都構想などにかける財源で職員数を拡充すべき。
3	子どもの相談・声を受け止め、政策に反映させる体制作りについて	◎	制度の構築も大切ですが、どのように周知し、運用していくのか？ということが重要。
4	子どもの遊びの保障について	◎	
5	地域や学校で多様な子どもたちが育つことについて	△	一緒に学ぶ、育つ方が良いのかどうか、正直いまの私には答えがありません。申し訳ありません。一緒に学ぶ方が良い子どもも居れば、別々に学ぶ方が良い子どもも居ると思います。
6	子ども主体の学びのあり方について	◎	
7	学校・教職員へのサポート体制について	◎	子ども達一人ひとりと向き合う教師本来の役割と庶務的な業務を区別し、教師が子ども達と向き合う時間を確保するため庶務的な業務を担う事務職を拡充すべき。
8	フリースクールなど多様な教育の選択肢について	◎	一定の枠にはめ込んで、こうでなければならないという概念の転換が必要。いずれ成人する子ども達が社会の一員として人生をまっとうできるよう、それぞれの子ども達の可能性を信じ、必要な知恵や武器を子どものうちに授けてあげることが私達大人の役割。
9	放課後の子どもの居場所	◎	私の家には常に息子たちの友達が多く遊びに来ているので、ある意味では居場所になっているのかな？と思います。どのように制度化していくのか課題が多い問題ですが、地域の皆様のお力をお借りするなど、それぞれの地域に合った形を模索する必要があると思う。あわせて保護者の意識改革も必要。
10	「子どもの権利条約」の周知について	◎	
備考			

		必要◎ 不必要× その他△	南区				
質問	候補者名	小堀セイジさん(立憲民主党)	しぎ良太さん(自由民主党)		藤本さちこさん(日本共産党)		
1	「子ども条例」制定について	◎	条例作成に向けたワーキングをみなさんと一緒に立ち上げていければと思います。	◎		◎	
2	虐待から子どもの命と心身を守るための対策について	◎		◎		◎	
3	子どもの相談・声を受け止め、政策に反映させる体制作りについて	◎	オンブズパーソン制度について必要	◎	オンブズパーソン制度について必要	◎	オンブズパーソン制度について必要
4	子どもの遊びの保障について	◎	ビッグバン後背地に、堺市初のプレーパークの整備を推し進めています。ご協力下されば幸いです。	◎		◎	
5	地域や学校で多様な子どもたちが育つことについて		コミュニティの一員として共に学ぶ/共に育つほうがいい		コミュニティの一員として共に学ぶ/共に育つほうがいい		コミュニティの一員として共に学ぶ/共に育つほうがいい
6	子ども主体の学びのあり方について	◎		◎		◎	
7	学校・教職員へのサポート体制について	◎		◎		◎	
8	フリースクールなど多様な教育の選択肢について	◎		◎		◎	
9	放課後の子どもの居場所	◎		◎		◎	
10	「子どもの権利条約」の周知について	◎		◎		◎	
備考							日本共産党は堺市議会でも子どもの権利条例制定を求めてきました。今後も、子どもの教育、子育て支援に取り組まれる各種団体のみなさんのご意見、ご要望を聞きながら、前進に努めてまいります。

		必要◎ 不必要× その他△	美原区
	質問	候補者名	
1	「子ども条例」制定について		
2	虐待から子どもの命と心身を守るための対策について		
3	子どもの相談・声を受け止め、政策に反映させる体制作りについて		
4	子どもの遊びの保障について		
5	地域や学校で多様な子どもたちが育つことについて		
6	子ども主体の学びのあり方について		
7	学校・教職員へのサポート体制について		
8	フリースクールなど多様な教育の選択肢について		
9	放課後の子どもの居場所		
10	「子どもの権利条約」の周知について		
備考			